

保護者のみなさまへ

瀬戸市立萩山小学校長 杵 渕 家

平成25年度「学校評価」について（最終報告）

本年度も残すところあとわずかとなりました。1月に本年度の学校評価として、「学校評価アンケート調査」の集計結果と概要をお知らせしました。その後、保護者のみなさまからご意見やご感想をいただきました。ありがとうございます。

いただいたご意見・ご感想（今回は3件でした）と 来年度へ向けた学校の思い・考えをお伝えします。

＊ 学校評価資料を配布後にいただいた保護者のみなさまからのご感想やご意見

子ども同士のトラブルで、けがをしたことがありました。帰宅後、不快だったようで、「先生にいうタイミングを逃してしまったから、先生に話して」と言い出したので、学校に電話をしました（こんなことで電話するのは、と気が引けていましたが）、翌日にはその件についてクラスで話し合いをしてもらい、電話もいただきました。ちょっとした問題でも、放っておかないでその都度解決するように努めてくださっているのだとうれしく思いました。安心して学校へ行かせることができます。ありがとうございました。

子どもに学校の様子をきいても、うまく説明してくれないため、よくわからないのですが、ホームページでこまめに知らせてもらえるのでうれしいです。

保護者で集まって意見交換する場が少ないので、「保護者のみなさまの自由記述」をまとめて載せていただき、とても参考になりました。

1クラスしかないことや外国籍の子が多いことで、関わり方の心配や身動きのとれない不便さがあるのかと思っていましたが、そんなことはこちらの気苦労で、子どもにとってはその環境が当たり前で、なにも心配はあり

ませんでした。

人数が少ない分、先生に覚えてもらえたり、上級生でも接点のある子には声をかけたりして、交友関係の幅も広いように思いました。

いじめも心配していたし、いやなこともされたと聞くこともありました。もちろんうちの子も反対の立場になることもあり、恐縮することもありました。歳を経て、言われたとおりにするというわけではなく、やらされる・命令されるのは嫌という自我も出てきて、親も子に理解をしてもらうこと、子どもと向き合うことを考えさせられました。

家庭や学校で注意してもらっても、その子を力づくで動かすことはできないし、各家庭で教育方針も違うだろうし、どうしたらいいのか、わからなくなることもありました。そのような中で、道徳的なこと（家庭内だけで通用するルールではなくて、学校という社会の中で、みんなが気持ちよく過ごすためのルール）を、学校で教えてもらえるのはよいことだと思います。

保護者としてあまり学校と関わることなく、いっしょに学校生活づくりをしてきていなかったのも、こういうアンケートで意見を聞いてもらえてありがたいと思います。

子育てをされていて思うことは、うちは3人家族ですので大家族で子育てできたらという

ことです。多くの目、違う世代、子と親が
対一だけの狭い世界に縛られないことで、柔
軟に育ってくれるような気がして。もちろ
ん一番よいのはいろいろなこと(食事や行事・・・)
を大勢で行い、考えることです。そんな学校
を理想として夢見ています。

個人と学校とのつながりはかろうじてあり
ますが、親対親のつながりがあまりなく、ト
ラブルが大きくなる心配をしてしまいます。
仕事をされている方も多く、難しいかもしれ
ませんが、親と親の横のつながりが広がれば、
よいと思います。

* 学校より = みなさまのご意見やご感想をいただいて =

とても貴重なご意見をいただきました。あ
りがとうございます。

いただいたご意見やご感想から伝わって
くることは、学校と保護者のみなさまのつな
がりはもちろんのこと、保護者のみなさま同
士のつながりをもっと深めることができれ
ばということでした。

来年度の本校の教育活動に向けて、大切
な指針と考えたいと思います。

昨年度は、この場で次のように記しました。

- 。 子ども達の状況や様子についてどん
なささいなことでも伝えていただけ
るよう、敷居の低い学校づくりを進め
ます。また、学校からも積極的に情報
を発信し、保護者のみなさま・地域の
みなさまと共通理解を図り、手を携えて
子どもたちを育てていけるようにして
いきます。
- 。 たより、ホームページの充実を図り、
学校が、今何を目指し、何を行って
いるかを保護者・地域に伝え、連携
できる体制を整備します。また、保護
者の一人ひとりとコミュニケーション
を深め、共通理解に立った指導を行
っていきます。

今回のご意見・ご感想から、学校・地域と
保護者のみなさんがコミュニケーションを
深め、共通理解を図ることから一歩踏み込み、
保護者のみなさん同士がコミュニケーション

を深め、共通理解が持てるような機会を工夫
していく必要があると感じました。来年
度の課題として取組みを考えたいと思い
ます。ここには、PTA活動の工夫も含ま
れるかもしれません。ぜひ、保護者の
みなさまのアイディア等をお聞かせ願
いたいと思います。

この他にも、本年度に引き続き、児童
が満足感を味わい、意欲を持って課題
に取り組める場や機会を工夫し、本校
の喫緊の課題である学力の向上をめざ
した取組みを継続していきます。

他校にない本校の強みは、特別支援学
校が共存し、外国籍児童の割合が高く、
多くの年齢層の方が共に暮らしている
地域環境です。これは、現代社会の課
題として、インクルーシブ・グローバ
ル・ノーマライゼーション・エイジ
ング・・・とさまざまな言葉で表現
されます。萩山小学校で学ぶことで、
しらぬ間に「共に生きる」ことの全
てを学ぶことができます。この利点
を今以上に生かし、地域や特別支援
学校との交流活動の充実を図ります。
そして、コミュニケーション能力を
高めたいと思います。また、これら
の取組みが、いじめ・不登校の問
題、言葉遣いを含めた人との接し方、
人権教育につながると考えます。

来年度、今まで進めてきた保護者・地
域・学校の連携に、保護者のみな
さま同士の共通理解やつながりを
深める手立てを加え、子ども達
の健やかな成長のための教育活
動を進めていきたいと考えてお
ります。

来年度も、萩山小学校へのご支援とご協力をよろしくお願いします。